



兵協連だより

HYOGO CONSUMERS' CO-OPERATIVE UNION

2018 8



7月6日(金) 兵庫県民会館において、「第96回 国際協同組合デー・兵庫県記念大会」が開催されました。悪天候にも関わらず県内の生協・農協 (JA)・漁協 (JF)・森林組合 (JForest) の組合員や役員と職員をはじめ、230人がつどいました。また、国谷 裕子氏が「知っていますか？ SDGs (持続可能な開発目標) 国谷 裕子さんとお考え、誰一人取り残さない社会」をテーマに記念講演を行いました。(関連ページP.3)



兵庫県農業協同組合中央会
専務理事

浜田 充

(はまだ・みつる)

新元号に託す未来

唐突ですが、あの日は自宅に帰れなかったか。あの日は、国際協同組合デー・兵庫県記念大会が開催された7月6日、兵庫県に大雨特別警報が発令された日のことです。

大災害が多かった「平成」の時代もいよいよあと1年足らずになりました。2019年5月1日からの新しい元号の公表時期は、4月になってからと報道されています。平成という元号には、戦争とその後の奇跡の復興を経験した昭和の時代を踏まえ、平和がこれからも続くことへの祈りが込められています。しかしその30年はバブル景気を経て、経済の停滞と相次ぐ大災害に見舞われました。新しい元号に、私たちはどのような未来を託したらいいのか。

国際協同組合デー・兵庫県記念大会の記念講演「知っていますか？SDGs（持続可能な開発目標）国谷裕子さんと考える、誰一人取り残さない社会」は、今の時代をよく考えさせられた。

国谷氏によれば、SDGs（「エスディーズと呼ばれる）が誕生した背景には、一つは2000年から2015年の間に行われた、途上国の貧困や教育レベルの改善を目的とした「ミレニアム開発目標（MDGs）」で取り残された問題があること、二つ目は地球環境が限界にきていること、三つ目は新たな社会問題が表面化してきた背景

があり、先進国が自ら取り組まなければならぬ17の目標として定めたこと。さらに、この目標について、国谷氏

からは、「協同組合はだれも取り残さないというSDGs原則を体現している。協同組合の活動とSDGsとは親和性がある」と述べられていました。

協同組合は、早くからSDGsとの関わりが深く、この目標を定めたさい、国連は民間セクターで活躍する主体として協同組合を明記しています。

実際に、コープこうべの訪問活動は、実はすごいサービスであったこととして、組合員さんに認識されるようになっていきます。今日一日が幸せだったと思えるような毎日を、明日が来るのが楽しみにできるような地域で安心して暮らし続けることのできる地域づくりには欠かせない重要な取り組みとして、地域の課題を「自分ごと」として捉え行動することを、私たちが学ばせてもらっている。

今年4月1日は、JCA（日本協同組合連携機構）が、協同組合に特化した研究機関としてスタートした。また一昨年11月にユネスコが協同組合を次の世代に引き継ぐ人類の財産である「無形文化遺産」に登録されている。新しい元号には、協同の時代を想像して未来を託していきたい。

CONTENTS

- | | |
|---|------------------------------------|
| 2. 想点 | 6. 協同組合のかけ橋 |
| 3. 国際協同組合デー／兵庫県記念大会 | 7. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓 |
| 4. まるごと健康チャレンジ お知らせ／
単協通信 甲南大学生生活協同組合 | 8. 東日本被災地支援のご案内／県連日誌／単協人事／
編集後記 |
| 5. 単協通信 阪神医療生活協同組合／
近畿労働金庫兵庫地区本部／お知らせ＆報告 | |

国際協同組合デー・ 兵庫県記念大会を開催

7月6日(金)、兵庫県民会館 けんみんホールにおいて、「協同の力で未来を拓く」をテーマに、「第96回 国際協同組合デー・兵庫県記念大会」を開催しました。
兵庫県、神戸市をはじめ多くのご来賓の皆様をはじめ、兵庫県協同組合連絡協議会(兵庫JCC)を組織する生協、農協、漁協、森林組合の主催者団体の役職員、組合員など、230人が参加しました。

世界の協同組合に携わる人々が、平和とよりよい生活を築くために運動の前進を誓い合う「国際協同組合デー」は、毎年7月の第1土曜日と定められており、兵庫県では、この日を受けて、毎年7月に開催しています。また同日に、第35回兵庫JCC委員会が併せて開催され、各協同組合(連合会)のトップが参加。活動報告および年度方針の確認、意見交換などを行いました。

当日は、高岡敦子さん(生活クラブ生協都市生活)の司会で開幕。悪天候にもかかわらず、兵庫県、神戸市をはじめ多くのご来賓の皆様をはじめ、合わせて230人が参加されました。

第一部の記念式典では、主催4団体を代表して兵庫県漁業協同組合連合会 田沼政男代表理事会長が挨拶。続いて、兵庫県副知事 荒木一聡様、神戸市経済観光局農政担当局長 長沢秀起様、日本協同組合連携機構 常務理事 青竹豊様からご祝辞をいただきました。

最後に、兵庫県農業協同組合中央会 丸山直幸さんが「協同の力で未来を拓くをスローガンに、よ

り安心して暮らせる豊かな地域社会が築けるよう、積極的に活動を展開します」と、「第96回 国際協同組合デー・兵庫県記念大会兵庫JCC宣言」を力強く読み上げ、満場一致で採択されました。

第二部の記念講演では、国谷裕子氏を迎え、「知っていますか？SDGs 国谷裕子さんと考え、誰一人取り残さない社会」と題して記念講演。SDGsが誕生した背景、新たな社会問題が表面化し、世界中の国や企業が自ら取り組みなければならぬ目標や協同組合への取り組みなど事例をあげてわかりやすくお話しいただきました。



挨拶する 田沼 政男
兵庫県漁業協同組合連合会・代表理事会長



兵庫県 荒木 一聡
副知事



神戸市 長沢 秀起
経済観光局 農政担当局長



日本協同組合連携機構
青竹 豊 常務理事



記念講演
国谷 裕子氏



JCC宣言を読み上げる
兵庫県農業協同組合中央会
丸山 直幸氏

第96回 国際協同組合デー・兵庫県記念大会 兵庫JCC宣言

本日、第96回国際協同組合デー・兵庫県記念大会を開催し、兵庫県内の生協、農協、漁協、森林組合の協同関係者が一堂に集まり、心を一つに協同組合運動のさらなる発展を誓う日を迎えることができました。

国際協同組合デーは、1923年、「国際協同組合同盟 (ICA)」が提唱し、協同組合運動を全世界で発展させ、その協同組合の理念と価値を広げ、より良い社会を築くことを目指して、毎年欠かさずことなく開催されてきました。

国連は2012年を「国際協同組合年」と定め、2016年には「協同組合の思想と実践」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。また、2015年国連サミットで定められた、2030年までに達成すべき17の環境や開発に関する国際目標である「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成に向けての推進役として「協同組合」が明記されるなど、国際的にも協同組合に対する評価と実践への期待が高まっています。私たち協同組合は「助け合いの組織」として、その使命と役割をしっかりと果たしていかなければなりません。

グローバル化がすすむ一方で、貧富の格差拡大が問題になっています。また、わが国では、人口減少・高齢化にどう立ち向かっていくかが深刻な課題です。そうした中、今年4月、わが国の協同組合運動をリードする「日本協同組合連携機構 (JCA)」が発足しました。

今年の国際協同組合デーの世界共通スローガンは、「協同を通じた持続可能な社会へ」です。わたしたち兵庫JCCは県内の協同組合間の連携をより一層強固にするとともに、全国の協同組合の仲間たちと手を携え、世界に視野を広げて協同組合運動をすすめます。

今年は兵庫JCC35周年、兵庫県政150周年となる記念の年です。大きな節目にあたり、兵庫JCCは、「協同の力で未来を拓く」をスローガンに、より安心して暮らせる豊かな地域社会が築けるよう、積極的に活動を展開します。

以上、わたしたちは、協同組合をより一層、発展させることをここに宣言いたします。



「第35回兵庫JCC委員会」が開催されました

兵庫 JCC =
兵庫県協同組合連絡協議会 = とは
【Hyogo-ken Joint Committee
of Co-operatives】

兵庫県協同組合連絡協議会(兵庫JCC)は、兵庫県内の生協、JA(農協)、JF(漁連)、JForest(森林組合)の相互交流と連携を目的に、1984年7月の第62回国際協同組合デーを機に設立したもので、今年で35周年を迎えました。

ひょうごまるごと健康チャレンジ2018

これまで会員生協（医療生協）がそれぞれ取り組みをすすめてきた「健康チャレンジ」。2018年度から、県下の協同組合あがりの取り組み「ひょうごまるごと健康チャレンジ2018」としてすすめます。

健康チャレンジは、運動や食事改善、禁煙など一定期間実施し、健康習慣を見直すきっかけづくりです。

兵庫県生協連合会・コープこうべ・神戸医療生協・尼崎医療生協・阪神医療生協・宝塚医療生協・姫路医療生協・ろっこう医療生協・たじま医療生協・ひまわり医療生協主催で、実行委員会を立ち上げ、チャレンジシート（パンフ）を製作中です。

9月22日にはキックオフとなるカラダはじめ・はかるのチャレンジDAYを三木市にあるコープこうべ協同学苑で開催します。

チャレンジシートの入手や参加方法等、詳しくは次月以降にお知らせいたします。

9月から始まる「ひょうごまるごと健康チャレンジ2018」。チャレンジシートを手に入れ Let's Challenge！



どなたでも
参加OK
参加費無料

県下全体で
3万人目標

単協通信

甲南大学生生活協同組合

2018年度通常総代会報告

5月24日(木)16時30分より、甲南大学5号館カフェパンセにおいて、2018年度(第51回)通常総代会を開催しました。

当日は総代総数121名中、115名の出席(本人出席28名、書面議決87名)がありました。すべての議案が多数の賛成により可決承認されました。

総代会の運営・進行は主に学生理事・総代等学生が務めました。

今年の総代会では、総額10万円の「書籍利用券」が当たる「生協総代会第51回記念やるん企画大抽選会」を行いました。

「やるん」は2015年の総代会で、甲南学生が買いたい、食べたパンで選ばれた文字)

総代会終了後の第1回理事会においては、昨年引き続き理事長に都染直也代表理事が、専務理事に初田真紀子代表理事が就任しました。

第1回理事会終了後は、新施設内のプロントでレセプションを開催しました。理事・監事、総代と生協職員で約50名の参加があり、各店舗の

新メニューの試食や意見交換会も兼ねた充実した懇親会となりました。

総代には、任期中(1年間)毎月、「総代通信」を送り、生協情報をいち早く届けることを始めました。

甲南大学生協2018年は、「固」をテーマとして、中身をしっかりと磨き、本物の強い組織となるよう運営を進めていきます。「組合員の皆さんの生活の向上」を目的として、「期待を超える」事業活動を行います。

(通信員 中谷満子)



阪神医療生活協同組合

地域支えあいの会やまびび

「ようよ活動が始まりました」



この会は、組織にとらわれず、地域住民が主体になり、誰もが必要な時に有償・無償使える仕組みを目指しています。地域の中でお互い「時に支え、時に支えられる」の関係を一緒につくっていきませんか。

地域、組合員の声を聞き、夢を形にしていく「むげんプロジェクト（むげん会議）」で色々な声を聞きながら、どんなことが地域に求められているのか、意見を出し合ううちに「有償、無償を含めた、助け合いの仕組みをつくる」という声が多く出されました。そこから、その仕組みを具体的に進めるため、昨年10月末に、専門職と地域住民による「お助けたい結成プロジェクトチーム」が発足しました。「地域での支えあい」について話しあううちに「お助け隊」から「支えあいの会」に変わりました。

そして、医療生協だけに留まらない地域での支えあい、仕組みづくり。会員、会員外にかかわらず、誰でも、「困った」が言える所が良いと確認されました。一部の人がいるから、継続できるのではなく、継続できる仕組みにと話し合ってきました。「二人の困りごとを地域みんなと一緒に支えあう」というテーマで、副代表を受けて下さった桑山信子さんを講



師にお願いして講演会も開き、代金は支える人が決めるのではなく「利用者さんが、払いたいお金」であること。「プロの住民」という言葉も学びました。

元気に暮らしていても、高齢であつても、子育て中であつても、いつなんどき人の手助けが必要になるか、わかりません。ひとりでは介護も、子育ても不安です。地域の中でお互い「支え、支えられる」関係を、みんなで作っていかねばなりません。

「やまびび」は、発する声より、かえってくる声が大事です。表に出てこない、小さな困りごとの声を傾けて、吸い上げられるような仕組みを、一人ではなく、みんなで作っていかうという思いが込められています。「困った」「助けて」という声は安心して話せる間柄でないといけないと思います。みなさんの「おせっかい」の力が必要です。

いろいろな方にご協力いただいて、思いをこめて作ってきてこの会を、今後は皆さんと一緒に育てていきたいと思っています。よろしくお願いします。

（通信員 山下道子）



近畿労働金庫兵庫地区本部

ろうきんコンサート2018 『J-POP×Strings FES!!』のご案内

（一財）兵庫労働者福祉基金協会が主催する「ろうきんコンサート」。勤労市民が良質の音楽芸術に親しむ機会を、低廉な料金で提供しています。良い音楽にふれて「暮らしに潤いを、人生に喜びを」

ぜひ多くの皆さまのご来場をお待ちしております。

一般財団法人兵庫労働者福祉基金協会は、兵庫労働金庫（現近畿労働金庫）は、1988年に県内の勤労者の福祉の増進をはかるために、また、勤労者の生活向上に寄与することを目的として設立した財団法人です。

「もとまちハートミュージアム2018」

「来場ありがとうございます」

障がい者アート作品「ドギドギ展」、コンサート「もとまちウキウキ」、作業所製品ハートショップなど、多くの方に楽しんでいただきました。皆さまのご来場ありがとうございました。

ざいしました。もとまちハートミュージアム2018実行委員会（神戸元町商店街連合会／神戸風月堂／WAKKUN（社福）えんびつの家／NPO法人拓人こうべ／神戸ゆめ工房／NPO法人リ・フォーブ／片山工房／NPO法人ネットワーク長田／ちゅうおう障害者地域生活支援センター／（一財）兵庫労働福祉センター／（社）ひょうご部落解放・人権研究所／（一財）兵庫労働者福祉基金協会／全労済兵庫推進本部／近畿労働金庫兵庫地区本部

（通信員 井奥眞貴子）

ろうきんコンサート2018 J-POP×Strings FES!!

～音楽が100倍楽しくなる!! 素晴らしいストリングスアレンジの世界!!～

- ◆神戸会場（神戸文化ホール 中ホール）
日時：11月19日（月）19時開演（18時15分開場）
 - ◆西宮会場
（兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール）
日時：11月20日（火）19時開演（18時15分開場）
 - ◆姫路会場（姫路キャスパホール）
日時：11月21日（水）19時開演（18時15分開場）
- 予定プログラム（各会場共通）
「Everything」「花は咲く」「涙そうそう」
「ベートーベン交響曲第7番」他
出演：神戸市室内管弦楽団、端山梨奈（ソプラノ）、福嶋勲（バリトン）

入場料 1,000円（全席自由）
チケット販売開始 7月18日（水）

●チケットのご購入など、お問い合わせは
一般財団法人 兵庫労働者福祉基金協会
電話：078-371-5795 携帯：090-3263-5795



障がいがある人もない人も、老いても若い人も、一体感がすごい！みんなで楽しんだ「もとまちウキウキ」

協同組合のかけ橋

JF

JF 伊保

関西学院大学 田和ゼミ（文学部） との消費流通検討交流会を開催 ～カキ養殖について学習～

摂津播磨地区漁業協同組合青壮年部連合会（大西 正起会長：JF 伊保）は、関西学院大学文学部 田和 正孝教授のゼミ生との交流を平成25年から続けており、今年も「消費流通検討交流会」と題して6月2日(土)、赤穂市坂越の海の駅しおさい市場で開催されました。

今年は、カキの種付けから収穫・カキ剥きまで行い、カキ養殖を通じ漁業の大変さ、素晴らしさを体験してもらう予定です。

田和教授とゼミ生ら17名は、赤穂市漁協青壮年部大河弘樹部長より西播地区で盛んなカキ養殖についての説明を聞き、カキ幼体の着いたホタテ貝をロープに付ける作業を行いました。

その後、カゴ漁を体験しつつ快適なクルージングを堪能し沖にあるカキ養殖筏へ移動しました。養殖筏へ乗り移りましたが、竹と塩ビパイプで組んだ丸い足場に歩くのに一苦労。なんとかロープを吊るす場所まで移動し、カキを吊るすことができました。

今後はグループLINEでカキの生育状況等を情報発信し、1月の水揚げに向けますます交流の輪を広げていく予定です。



種付け



筏での作業

JA

JA 兵庫中央会

消費者と生産者をつなぐ ～JA 兵庫六甲の新たな都市戦略～

JAグループは、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を重点目標とする自己改革に取り組んでいます。JA 兵庫六甲は、中期経営計画「21ビジョン」を実践することによって、自己改革を進めています。同ビジョンは、「“農協”の本来的役割を見つめ直し、変革に向けた取り組みを強化する」としています。同JAは、都市と農村地域の両方を地区にしており、消費者と生産者をつなぐことが重要だと考え、新たな「都市部戦略」を実践しています。

今年4月、神戸市東灘区に「ファーマーズマーケット マチマルシェ御影」「惣菜販売&カフェ 御影キッチン」と信用・共済事業を中心に行う「御影支店」が同じ敷地内にある「御影JA 総合センター」を開設しました。都市部の消費者は、JAの正組合員（農家）が生産した選りすぐりの農畜産物をマチマルシェで購入できます。「御影キッチン」では、マチマルシェに入荷された野菜などを素材にしたランチや軽食を食べていただけます。また、2階のクリエーションルームでは、支店の担当者が料理教室などを開催し、食農教育にも取り組んでいます。

マルシェとキッチンが相乗効果を発揮し、都市部においてもJA 総合事業としての機能を高めていくことを目指しています。



選りすぐりの
農畜産物が並ぶ
マチマルシェ御影



ファーマーズマーケット、支店とキッチンが並ぶ御影JA 総合センター



最近の消費生活相談事例

「簡単に儲かる」というインターネットの副業に注意

事例

自宅でできる副業を探していたところ「簡単なパソコン操作を覚えれば誰でも必ず儲かる」という広告を見つけ、サポート情報料25万円を支払って契約しました。送られてきた「情報」をもとに作業をしましたが、全く収入はありません。(40代・女性)

【アドバイス】

相談者はインターネット上の広告から別のウェブサイトへ誘導され、高収益が得られるかのようなイメージ画像やその文言にひかれ、電話で具体的な仕事の説明を受けました。専門のソフトでネット上の無料動画をコピー・加工して新たな動画を作成し、ネット上にアップすることで再生回数に応じた広告収入が得られる仕組みでした。80代の高齢者でも収入を得ていると聞き、すっかり信用して25万円をクレジットカードで決済しました。

しかし、送られてきたソフトで作業をしても全く収入はなく、事業者との連絡も取れなくなってしまいました。

ほかにも『簡単なクリック作業』などで収入を得るという『情報』を購入するよう勧められた」といった相談も寄せられています。在宅で簡単に収入が得られることがうたい文句です。

申し込む前には、事業者名、住所、電話番号、取引条件など情報を収集し、少しでも不安に感じたら、身近な人や消費生活センターなどに相談しましょう。また、契約条件などの画面は証拠として保存しておくことが必要です。

インターネット上には、誰でも簡単に稼げるかのような表現を用いて、収益を得るための必要経費として高額な費用を支払わせる事業者が数多く存在します。

「必ず」「誰でも」「100%」「不労所得」などの甘い言葉は危険です。また、ウェブサイトには「〇万円をキャッシュバックするので、損はしません」などと記載されていたとしても、それを受け取るための条件が設定されている場合もあります。「キャッシュバック」「返金保証」などで消費者を安心させて、高額な契約金を求める手口には特に注意が必要です。(兵庫県立消費生活総合センター)

適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

ヨッシーの窓

みなさま、こんにちは。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江直記です。

さて、時の流れはとても早く、知っていた知識や経験も、いつの間にか古くなり、新しい言葉や技術などが、どんどん世に出てきます。消費者問題も同じで、今までの知識や経験だけでは防げないようなトラブルも起こっています。なので、日々、新しい情報を得ることは、とても、大切です。では、どこから、気を付けるべき情報を得たらよいのでしょうか。私、個人的に使っているものを3つご紹介したいと思います。1つは、国民生活センターの「見守り新鮮情報」です。メルマガに登録すれば、定期的に情報が送られてきます。2つ目は、ツイッターを使います。ツイッターは、個人の方のつぶやきですが、現場の情報をそのまま感じられるような気がしています。私は、消費生活相談員の yuri さんのツイートをよく見えています。そして、3つ目は、行政、生協、消費者団体や弁護士会などが主催しているシンポジウムに参加してみることです。シンポのいいところは、情報を得られるだけでなく、会場との連帯感を感じられるところだと思っています。内容によっては参加者同士の交流もあつたりします。シンポジウムに行くと、いつも、元気をもらえるのです。ぜひ、みなさまもご参考いただけたらと思います。(ひょうご消費者ネット 理事 司法書士 吉江直記)



ひょうご消費者ネット
連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C
TEL: 078-361-7201 E-mail: office@hyogo-c-net.com

MOVE

2018年度東日本被災地支援活動計画のご案内

2013年度から宮城県山元町への支援活動を開始し、今年で6年目を迎えます。

2018年度も引き続き、一般社団法人INGと連携して、「被災と復興の教訓を学び、予想される大災害に備え、活かしていく」という目的を継承すると同時に、東日本大地震の“被災地を忘れず、被災地に寄り添う”ために、東日本地震被災地支援活動をすすめてまいります。

会員生協の役員・職員皆様のご参加のほど、宜しくお願い申し上げます。

2018年度支援活動日程について

日程	スケジュール
10月19日(金) ~20日(土)	1日目：伊丹空港（19時集合）＝仙台空港（21時頃到着）＝支援センターへ 2日目：山元町「花釜まつり」支援ボランティア（山元町） 午後：後片付け、被災地視察 仙台空港（19時頃発）＝伊丹空港（21時頃着） 到着後解散
3月8日(金) ~10日(日) ※震災8年後の現地を視察	1日目：伊丹空港（19時集合）＝仙台空港（21時頃到着）＝支援センターへ 2日目：被災地視察（福島県富岡町近辺） 3日目：被災地視察（宮城県石巻市、女川町） 仙台空港（17時頃発）＝伊丹空港（19時頃着） 到着後解散

募集人数

購買生協1名、大学生協1名、医療生協1名、共済生協1名 計4名

*応募多数の場合は事務局にて分野別生協ごとに抽選で調整させていただきます。

お申込み・お問い合わせは

兵庫県生活協同組合連合会事務局までお願いいたします。

Tel: (078) 391-8634

E-mail: hyogo@kobe.coop.or.jp

◆ ◆ ◆ 単協人事 ◆ ◆ ◆

生協名	役職名	氏名
たじま医療生活協同組合	理事長	安木 洪
神戸市民生活協同組合	理事長	寺崎 秀俊
園田学園女子大学生協同組合	理事長	小田桐良一
尼崎信用金庫職員生活協同組合	組合長	岩村 弘

県連日誌

8月6日(月) 兵協連第2回理事会・

兵庫県企画県民部と兵協連理事会との懇親会（県民会館12001）

8月7日(火) 第1回保健・医療・福祉研究会（県民会館302）

8月21日(火)22日(水) 兵庫JCC 「虹の仲間づくりカレッジ」
（コープこうべ協同学苑）

8月31日(金) 第2回生活問題研究会（県民会館301）

編集後記

このたび、「兵協連だより」を大戸亜津子に代わり担当させていただく村上一朗です。

兵協連に就任して約2か月が経ちました。第68回通常総会、第96回国際協同組合デー兵庫記念大会と、あっといふ間の2か月でした。

次から次へとやってくる業務に、悪戦苦闘の毎日です。

忙しい毎日ですが、「新しい業務にトライする」という新鮮な気持ちで日々頑張っています。これから通信員の皆様を含め、いろいろとご迷惑をおかけいたしますが、何卒、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

(村上)

